

2 費目別指数の動き

2-1 食料

食料は106.7となり、前年に比べ1.2%の上昇となった。

食料の内訳をみると、野菜・海藻が5.6%、果物が5.3%、肉類が2.2%、酒類が1.9%、調理食品が1.8%、外食が1.7%の上昇となった。

一方、飲料が1.6%、乳卵類が1.5%、魚介類が1.0%、穀類、油脂・調味料が0.9%、菓子類が0.3%の下落となった。

生鮮食品についてみると、生鮮魚介が4.3%の下落となったが、生鮮野菜が6.5%、生鮮果物が5.7%上昇したことから、生鮮食品全体では2.2%の上昇となった。

図7 食料指数の月別の動き

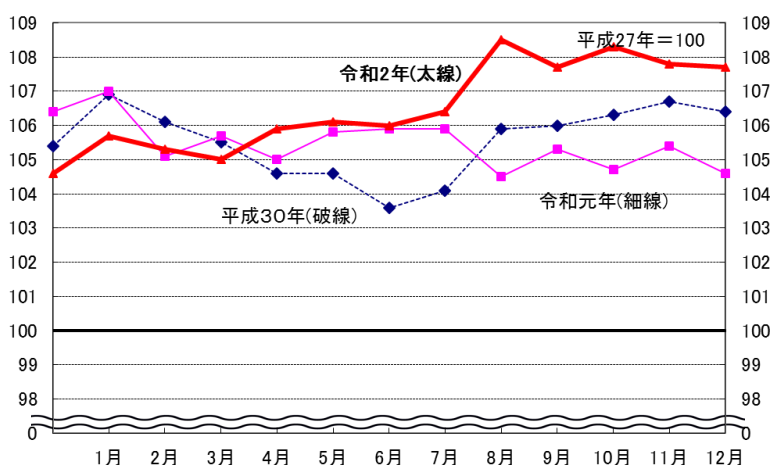


図8 生鮮食品指数の月別の動き

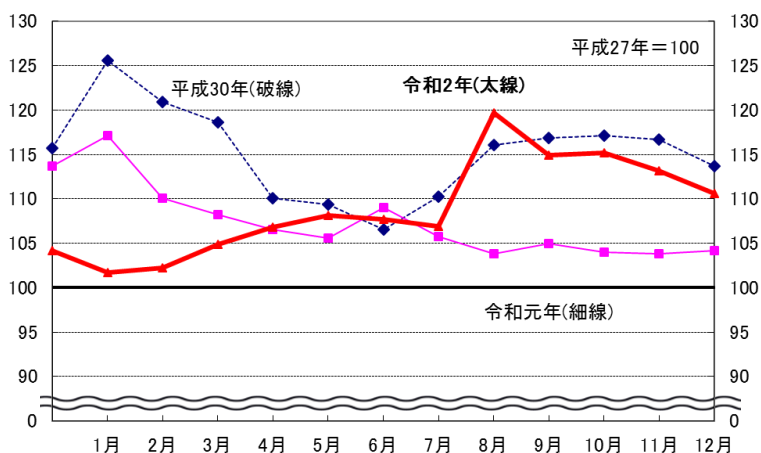


表4 食料の中分類別前年比の動き

項目	30年	元年	2年
食料	2.3	-0.1	1.2
穀類	3.5	1.1	-0.9
魚介類	7.7	-2.7	-1.0
肉類	-0.4	0.7	2.2
乳卵類	3.1	4.1	-1.5
野菜・海藻	7.1	-7.2	5.6
果物	1.5	2.8	5.3
油脂・調味料	3.1	1.1	-0.9
菓子類	0.4	2.0	-0.3
調理食品	0.8	1.2	1.8
飲料	-0.1	1.3	-1.6
酒類	0.3	-1.4	1.9
外食	0.1	1.1	1.7
生鮮食品	5.1	-7.1	2.2
生鮮魚介	6.7	-6.1	-4.3
生鮮野菜	5.3	-12.9	6.5
生鮮果物	1.9	2.5	5.7

図9 生鮮魚介指数の月別の動き

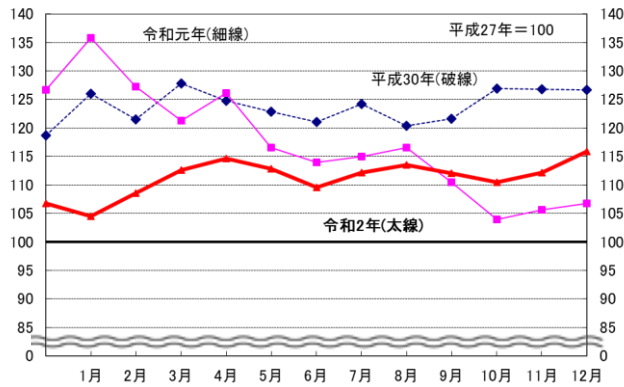


図10 生鮮野菜指数の月別の動き

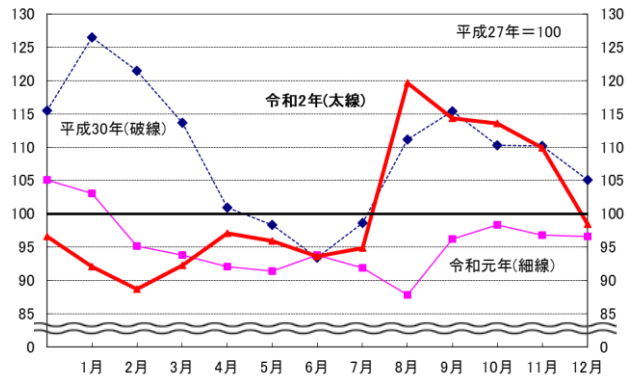
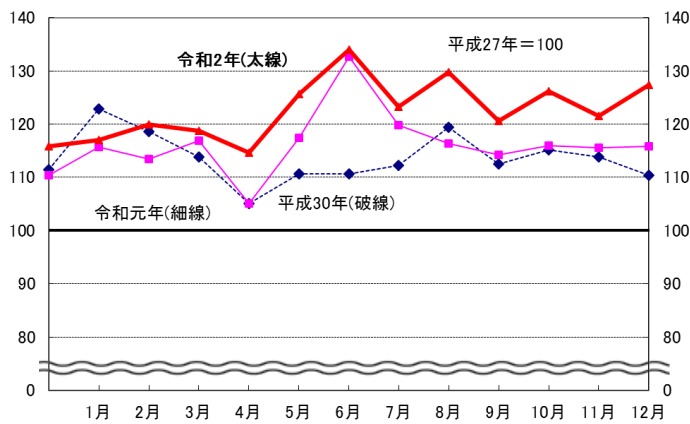


図11 生鮮果物指数の月別の動き



2-2 住居

住居は96.4となり、前年に比べ0.8%の下落となった。

住居の内訳をみると、家賃が1.2%の下落となった。

一方、設備修繕・維持が0.8%の上昇となった。

なお、持家の帰属家賃を除く家賃は1.8%の下落となった。

図12 住居指数の月別の動き

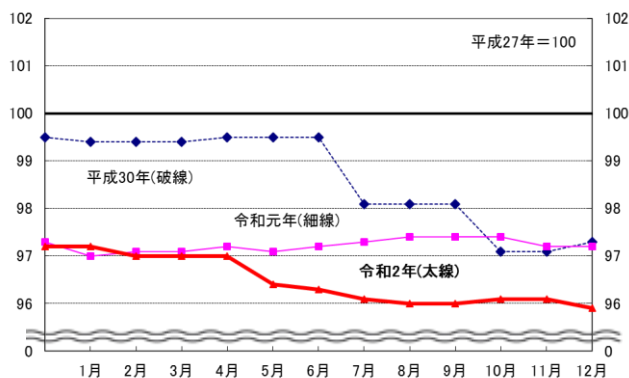


表5 住居の中分類別前年比の動き

項目	30年	元年	2年
住居	-1.1	-1.4	-0.8
家賃	-1.3	-1.8	-1.2
設備修繕・維持	-0.3	0.4	0.8
持家の帰属家賃を除く住居	-0.6	-0.1	-0.3
持家の帰属家賃を除く家賃	-0.9	-0.9	-1.8

2-3 光熱・水道

光熱・水道は97.5となり、前年に比べ1.5%の下落となった。

光熱・水道の内訳をみると、原油価格の下落に伴って、他の光熱が4.2%、電気代が2.2%、ガス代が1.5%の下落となった。

一方、上下水道料が1.5%の上昇となった。

図13 光熱・水道指数の月別の動き

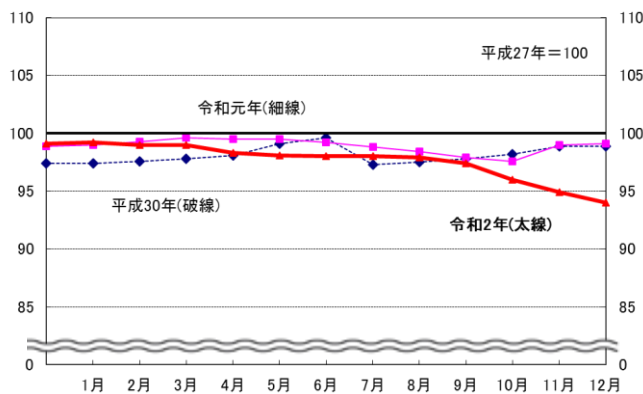


表6 光熱・水道の中分類別前年比の動き

項目	30年	元年	2年
光熱・水道	1.3	0.7	-1.5
電気代	0.4	0.6	-2.2
ガス代	2.4	2.0	-1.5
他の光熱	16.1	-0.6	-4.2
上下水道料	0.0	0.3	1.5

2-4 家具・家事用品

家具・家事用品は104.1となり、前年に比べ3.8%の上昇となった。

家具・家事用品の内訳をみると、家事雑貨が7.7%、家事用消耗品が5.6%、寝具類が4.7%、家庭用耐久財が1.9%、家事サービスが1.4%の上昇となった。

一方、室内装備品が5.6%の下落となった。

図14 家具・家事用品指数の月別の動き

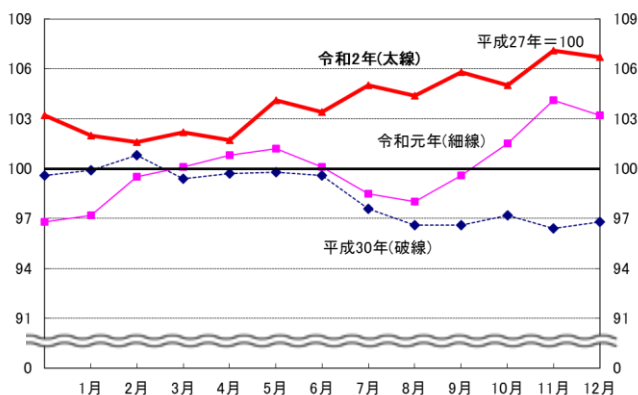


表7 家事・家具用品の中分類別前年比の動き

項目	30年	元年	2年
家具・家事用品	-1.9	2.0	3.8
家庭用耐久財	-5.1	5.0	1.9
室内装備品	-5.0	-5.4	-5.6
寝具類	2.3	1.1	4.7
家事雑貨	-2.0	0.2	7.7
家事用消耗品	-2.4	3.4	5.6
家事サービス	0.0	0.5	1.4

2-5 被服及び履物

被服及び履物は103.2となり、前年に比べ1.4%の上昇となった。

被服及び履物の内訳をみると、履物類が3.5%、被服関連サービスが3.0%、衣料が2.3%、シャツ・セーター・下着類が0.4%の上昇となった。

一方、他の被服類が4.7%の下落となった。

なお、衣料のうちでは和服が14.5%、洋服が1.5%の上昇、シャツ・セーター・下着類のうちではシャツ・セーター類が1.0%の上昇、下着類が1.0%の下落となった。

図15 被服及び履物指数の月別の動き

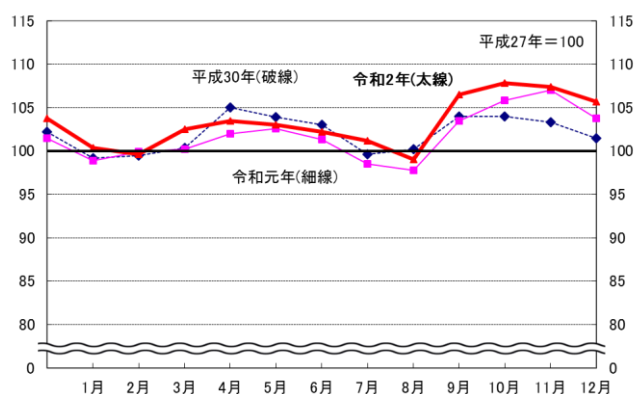


表8 被服及び履物の中分類別前年比の動き

項目	30年	元年	2年
被服及び履物	0.4	-0.2	1.4
衣料	3.4	-3.1	2.3
和服	-4.4	5.4	14.5
洋服	3.9	-3.6	1.5
シャツ・セーター・下着類	-4.9	4.2	0.4
シャツ・セーター類	-5.3	4.3	1.0
下着類	-3.9	4.0	-1.0
履物類	1.3	1.1	3.5
他の被服類	1.2	-2.9	-4.7
被服関連サービス	2.5	0.5	3.0

2-6 保健医療

保健医療は103.8となり、前年に比べ0.3%の下落となった。

保健医療の内訳をみると、保健医療用品・器具が3.0%、保健医療サービスが0.1%の下落となった。

一方、医薬品・健康保持用摂取品が1.4%の上昇となった。

図16 保健医療指数の月別の動き

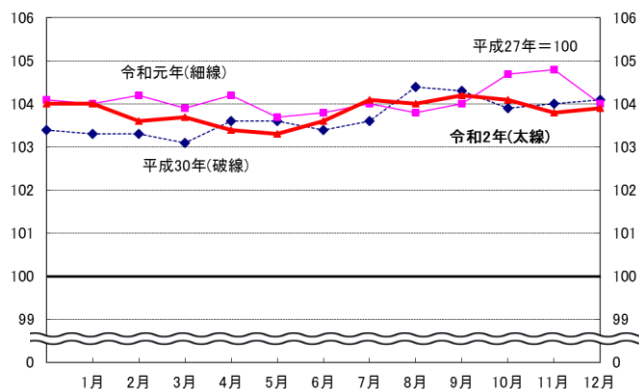


表9 保健医療の中分類別前年比の動き

項目	30年	元年	2年
保健医療	1.4	0.4	-0.3
医薬品・健康保持用摂取品	-0.6	-0.7	1.4
保健医療用品・器具	-0.8	-0.6	-3.0
保健医療サービス	2.9	1.1	-0.1

2-7 交通・通信

交通・通信は98.6となり、前年に比べ0.1%の下落となった。

交通・通信の内訳をみると、原油価格の下落に伴うガソリン価格の値下がりなどにより、自動車等関係費が0.6%の下落となった。

一方、交通が2.4%、通信が0.2%の上昇となった。

図17 交通・通信指数の月別の動き

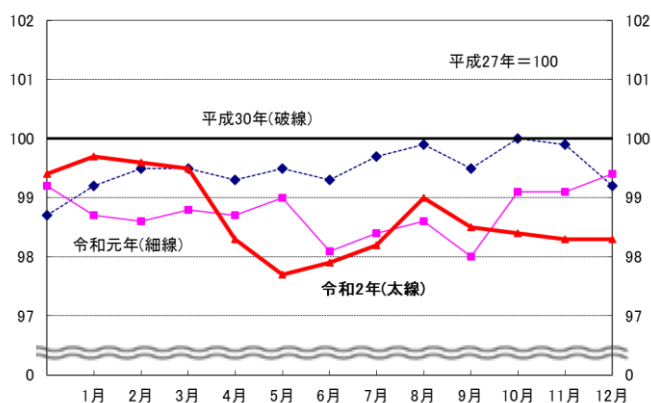


表10 交通・通信の中分類別前年比の動き

項目	30年	元年	2年
交通・通信	1.4	-0.8	-0.1
交通	0.2	0.6	2.4
自動車等関係費	2.8	-0.3	-0.6
通信	-1.7	-3.2	0.2

2-8 教育

教育は102.8となり、前年に比べ1.9%の下落となった。

教育の内訳をみると、令和元年10月から実施された幼児教育の無償化などにより、授業料等が4.4%の下落となった。

一方、補習教育が2.9%、教科書・学習参考教材が1.3%の上昇となった。

図18 教育指数の月別の動き

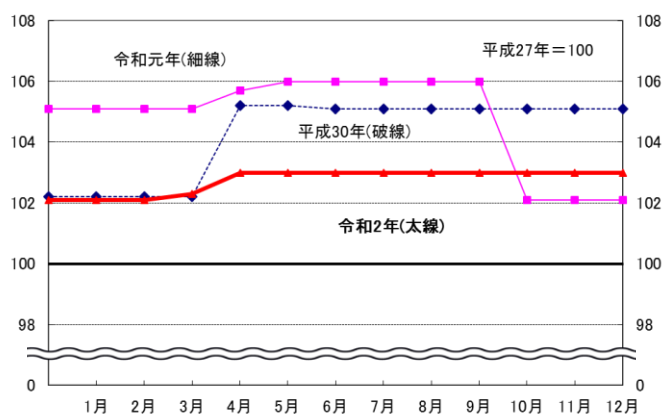


表11 教育の中分類別前年比の動き

項目	30年	元年	2年
教育	1.9	0.4	-1.9
授業料等	0.7	-0.8	-4.4
教科書・学習参考教材	0.1	0.3	1.3
補習教育	4.4	2.6	2.9

2-9 教養娯楽

教養娯楽は101.7となり、0.8%の下落となった。

教養娯楽の内訳をみると、7月から実施された「Go To トラベル事業」によって宿泊料が下落したことなどにより、教養娯楽サービスが1.6%の下落となった。

一方、教養娯楽用耐久財が0.9%、書籍・他の印刷物が0.6%、教養娯楽用品が0.1%の上昇となった。

図19 教養娯楽指数の月別の動き

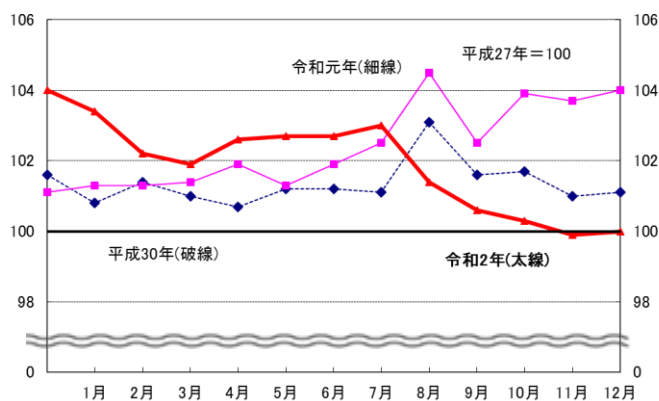


表12 教養娯楽の中分類別前年比の動き

項目	30年	元年	2年
教養娯楽	0.3	1.2	-0.8
教養娯楽用耐久財	2.3	-0.7	0.9
教養娯楽用品	-0.7	0.2	0.1
書籍・他の印刷物	1.1	3.4	0.6
教養娯楽サービス	0.4	1.2	-1.6

2-10 諸雑費

諸雑費は99.8となり、前年に比べ1.7%の下落となった。

諸雑費の内訳をみると、令和元年10月から実施された幼児保育の無償化により、他の諸雑費が7.3%、身の回り用品が0.3%の下落となった。

一方、たばこが3.7%、理美容サービスが1.9%、理美容用品が1.2%の上昇となった。

図20 諸雑費指数の月別の動き

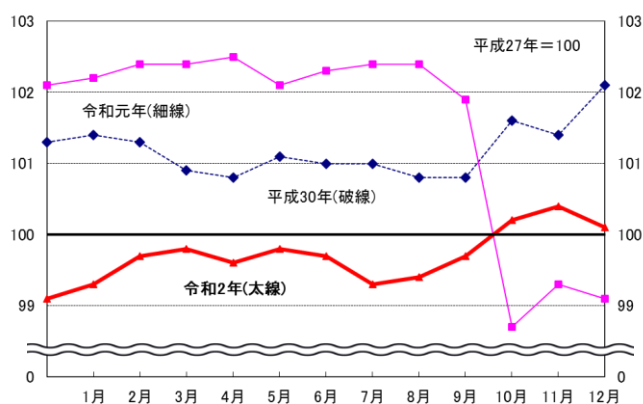


表13 諸雑費の中分類別前年比の動き

項目	30年	元年	2年
諸雑費	0.3	0.3	-1.7
理美容サービス	0.0	0.7	1.9
理美容用品	0.3	-1.4	1.2
身の回り用品	-1.8	6.8	-0.3
たばこ	3.0	6.4	3.7
他の諸雑費	0.6	-1.8	-7.3